

平成19年6月18日

四日市ターミナル整備計画について

～平成19年度は、中部近鉄百貨店四日市店およびグルメパークをリニューアルします～

近鉄グループでは、現在推進中の「近鉄グループ経営計画（平成18年度～平成21年度）」において、コア事業の基盤強化のため、主要ターミナル整備の方針を掲げています。このうち四日市駅では、駅周辺に立地する近鉄グループの商業施設を順次リニューアルし、近鉄四日市駅周辺の活性化を計画しています。

まず平成19年度は、中核施設である「中部近鉄百貨店四日市店」の低層階部分および「グルメパーク」のリニューアルを実施することとし、来る6月19日に着工する運びとなりました。

中部近鉄百貨店は、このリニューアルにより、プレステージ・ベター商品の導入と、三重県の中でも当店だけというオンリーワンショップを集積して『地域に生きる』百貨店を構築いたします。

近鉄グループでは、近鉄創業百周年および中部近鉄百貨店五十周年を平成22年度に控え、平成20年度以降についても、周辺施設を順次リニューアルしていく方針であり、四日市ターミナルを地方中核都市にふさわしいターミナルへと再整備したいと考えています。

（リニューアル後の「中部近鉄百貨店四日市店」イメージ）



1階 北側エントランス



1階 中央通路



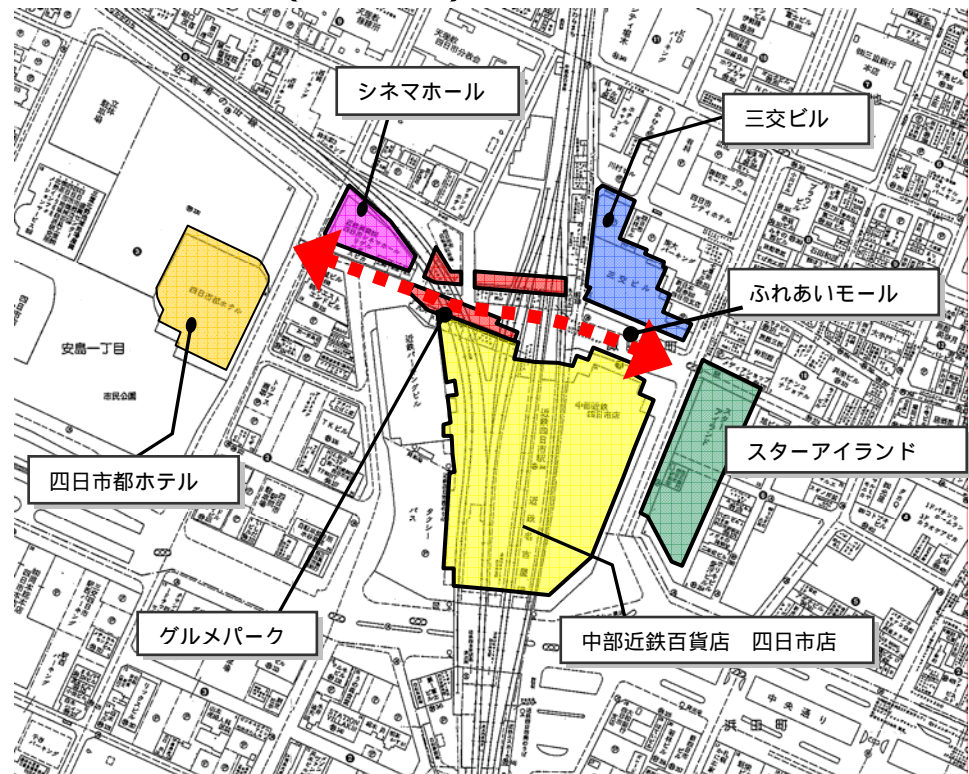
1階 惣菜売場



2階 菓子・銘品売場

1. 近鉄四日市駅周辺の現況

(周辺配置図)



現在の近鉄四日市駅周辺は、駅北側高架下を東西に結んでいる「ふれあいモール」が最も賑わいのある通りとなっており、これを中心に「グルメパーク(飲食店モール)」「中部近鉄百貨店四日市店」「シネマホール」「三交ビル(旧ボーリング場)」、さらに「スターアイランド(商業ビル)」「四日市都ホテル」が取り巻いて三重県下随一の商業集積地を形成しています。

しかしながら、これらの施設は昭和60年代を中心に整備してきたもので、既に20数年を経過しており、また中部経済圏における名古屋一極集中などの影響から、その魅力が相対的に低下しつつあるのが現状です。

そこで、近鉄グループでは、近鉄創業百周年および中部近鉄百貨店五十周年を平成22年度に控え、四日市ターミナルを地方中核都市にふさわしいターミナルへと再整備したいと考えています。

2. 中部近鉄百貨店四日市店リニューアル計画(平成19年度分)

(1) 概要

地上1階および2階において、食品および婦人用品売場を拡充するとともに、書籍売場を1階および2階の2フロアに移転増床します。

地下1階において、アクティブな生活を提案する新しい商品を導入します。特に、団塊世代などアクティブシニアをターゲットとしたフロアに全面リニューアルします。

ユニバーサルデザインを意識し、広い店内通路、明るい照明、多機能トイレ、ゆっくりおくつろぎいただけるレストスペースを整備します。

(2) 投資額 約24億円(近鉄約3億円、中部近鉄百貨店約21億円)

(3) 今後の予定 平成19年 6月19日 百貨店リニューアル工事着工

平成19年11月 百貨店リニューアルオープン

3階以上のフロアについては、来年度以降、順次リニューアルを進めていきます。(詳細未定)

3. 飲食店モール「グルメパーク」リニューアル計画

百貨店北側に位置する歩行者通路（ふれあいモール）に面する飲食店モール「グルメパーク」については、一部に物販店を導入しお客様の回遊性を高めるとともに、昭和60年整備当初の外装を、温かみ、賑わいのある外装に一新し、店舗構成も再構築します。

（リニューアル後の「グルメパーク」イメージ）



（1）概要

名古屋線高架下部の一部飲食店を書籍売場に変更し、百貨店2階に増床する書籍売場と一体とします。

シネマホール南側に店舗を増築し、カジュアルな飲食店を導入します。（詳細未定）

「明るく、温かみ、賑わいのある空間」をテーマに、四日市駅周辺で最も人通りの多いふれあいモールに相応しい店舗構成に再構築します。

（2）今後の予定

平成19年 7月 「グルメパーク」リニューアル工事着工

平成19年11月 「グルメパーク（北）」リニューアルオープン

平成20年 3月 「グルメパーク（南）」リニューアルオープン

「グルメパーク」が面する歩行者通路（ふれあいモール）については、来年度以降のリニューアルを計画中です。（詳細未定）

4. 将来計画

平成20年度以降についても、その他周辺施設のリニューアルについて、検討を進めていく予定です。

以上